

平成 29 年度静岡県交通基盤部優良業務委託表彰式

日時 平成 29 年 11 月 10 日(金)午後 1 時 00 分～午後 4 時 00 分

場所 しずぎんホール ユーフォニア(アゴラ静岡8階)

主催 土木事務所等、農林事務所

次 第

【第一部】静岡県交通基盤部優良業務委託表彰式(13:00～13:45)

- 1 部長挨拶 静岡県交通基盤部 部長 鈴木 克英
- 2 主催者代表挨拶 静岡県静岡土木事務所 所長 濱田 貴夫
- 3 来賓祝辞 静岡県測量設計業協会 会長 杉山 博 氏
- 4 表彰状授与 測量・用地調査等業務部門 (2件)
地質・土質調査業務部門 (1件)
設計業務部門 (9件)
調査・点検等業務部門 (9件)
農業農村整備等業務部門 (3件)
- 5 受賞者代表挨拶 静岡コンサルタント(株)代表取締役社長 森崎 祐治 氏

----- 休 憩 10 分 -----

【第二部】技術講習会(13:55～16:00)

13:55～14:55	講演:「建設産業界の担い手づくりと広報」 静岡県広報アドバイザー 社会情報大学院大学客員教授 北村 秀実 氏
14:55～15:20	講演:「RC 床版の損傷と新しい調査手法」 (一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 内田 美生 氏
15:20～15:40	優良業務事例発表① 「安倍中河内川災害復旧測量・設計業務委託」 服部エンジニア(株) 保母 智夫 氏
15:40～16:00	優良業務事例発表② 「設計業務において品質を確保する取組みについて」 中央コンサルタンツ(株) 加藤 裕孝氏

第二部の「技術講習会」は、全国測量設計業協会連合会、農業農村工学会 CPD 及び全国土木施工管理技士連合会 CPDS の認定学習プログラムです。講習会終了後、希望者には受講証明書を発行しますので受付へ「引き換え券※」をお渡しください。県職員の農業農村工学会 CPD 登録者については、事務局で手続きを行いますので、受講証明書は不要です。

※「引き換え券」の「会社名、氏名、電話番号」欄へ事前に記入した上で提出願います。

平成29年度 静岡県交通基盤部優良業務委託表彰一覧表

事務所別

番号	部門	事務所	業務名	箇所名	受託者名
1	設計業務	下田土木	平成27年度(国)136号道路施設震災対策事業に伴う設計業務委託(黒浜鉄道橋)	賀茂郡西伊豆町仁科	ちゅうおう 中央コンサルタンツ(株) しずおかしずま 静岡事務所
2	調査・点検等業務	下田土木	平成28年度二級河川仁科川水系河川調査に伴う河川整備基本方針業務委託(正常流量検討)	賀茂郡西伊豆町仁科	やちよ 八千代エンジニアリング(株) しずおかしずま 静岡事務所
3	測量・用地調査等業務	熱海土木	平成27年度大東他総合流域防災(基礎調査)【防災・安全交付金】事業に伴う土砂災害防止法基礎調査業務委託(地すべり)	伊東市新井	なかにほんこうくう 中日本航空(株)静岡支店 しずおかしずま
4	地質・土質調査業務	沼津土木	平成28年度 JR東海道本線・JR御殿場線社会資本整備総合交付金事業(街路)に伴う地質調査業務委託(新車両基地)	沼津市小諏訪	(株)ジーベック
5	設計業務	沼津土木	平成28年度 (一)御殿場箱根線橋梁修繕(道路維持)に伴う設計業務委託(御殿場高架橋修繕設計)	御殿場市東田中	にほんぎじゅつかいほう (株)エイト日本技術開発 しずおかしずま 静岡事務所
6	設計業務	沼津土木	平成27年度 一級河川御殿川豪雨対策緊急整備事業(河川)に伴う設計業務委託(その2)	三島市南二日町	すずきせつせい 鈴木設計(株)
7	調査・点検等業務	沼津土木	平成28年度 一級河川沼川第2放水路広域河川改修事業(防災・安全交付金)に伴う設計業務委託(モニタリング計画検討)	沼津市原	ちゅうおう 中央コンサルタンツ(株) しずおかしずま 静岡事務所
8	調査・点検等業務	富士土木	平成28年度(主)富士川身延線外防災・安全交付金(橋梁点検)に伴う橋梁定期点検業務委託	富士宮市内房	ふじせつせい 富士設計(株)
9	設計業務	静岡土木	平成28年度一級河川安倍中河内川災害復旧工法委託(河川調査)に伴う測量・設計業務委託	静岡市葵区桂山	ほっとり 服部エンジニア(株)
10	調査・点検等業務	静岡土木	平成28年度清水西海岸高潮対策事業(防災・安全交付金)に伴う浸食対策モニタリング業務委託	静岡市清水区三保	しずおかえいぎやうしよ (株)クリアリア静岡営業所
11	測量・用地調査等業務	島田土木	平成28年度(一)蔵田島田線道路維持(災害調査費)に伴う測量・設計・用地調査業務委託	島田市伊久美	おおがねくりやせつせい 大鐘測量設計(株)
12	設計業務	島田土木	平成28年度(主)川根寸又峽線道路維持(災害調査費)に伴う測量・設計業務委託	榛原郡川根本町奥泉	まついそくりやせつせい (株)松井測量設計事務所
13	設計業務	袋井土木	平成27年度(主)掛川大東線 新青田トンネルほか防災・安全交付金(県道トンネル修繕(本工))に伴う調査・補修設計業務委託(掛川支所管内)	掛川市板沢	おうちりつ 応用地質(株)静岡支店 しずおかしずま
14	調査・点検等業務	袋井土木	平成27年度二級河川太田川河川維持管理(太田川ダム維持管理)に伴う太田川ダム濁水対策工法検討業務委託	周智郡森町亀久保	にほんこうえい 日本工営(株) しずおかしずま 静岡事務所
15	調査・点検等業務	袋井土木	平成28年度(一)大河内森線 奥の谷トンネルほか防災・安全交付金(トンネル点検)道路トンネル定期点検業務委託	周智郡森町亀久保	だいにくほん 大日本コンサルタント(株) しずおかえいぎやうしよ 静岡営業所
16	設計業務	浜松土木	平成28年度二級河川堀留川広域河川改修事業(防災・安全交付金)に伴う設計業務委託(樋門詳細設計)	浜松市西区入野町	きょうわ (株)共和コンサルタント
17	調査・点検等業務	浜松土木	平成27年度一級河川安間川流域治水対策河川事業(防災・安全交付金)に伴う地下水調査業務委託	浜松市東区市野町	(株)フジヤマ
18	設計業務	田子の浦港管理	平成27年度田子の浦港田子の浦港浚渫土砂処分場対策事業富士緑地展望施設詳細設計業務委託	富士市前田	しやうわせつせい 昭和設計(株)
19	調査・点検等業務	焼津漁港管理	平成28年度焼津漁港 漁港防災対策支援事業焼津漁港津波避難誘導計画策定業務委託	焼津市中港	しずおかえいぎやうしよ いであ(株)静岡営業所
20	農業農村整備等業務	東部農林	平成28年度障害防止(施設補修)東富士地区東富士ダム設計委託その1	御殿場市水士野	えぬていしー NTCコンサルタンツ(株) しずおかえいぎやうしよ 静岡営業所
21	農業農村整備等業務	志太榛原農林	平成28年度県単調査(調査計画)志太榛原地区設計委託その4	藤枝市宮原	ふじそうごう 不二総合コンサルタント(株)
22	農業農村整備等業務	西部農林	平成28年度治山(地すべり)下里(27繰越)調査委託その1	浜松市天竜区龍山町瀬尻	こくどうぼうさいぎじゅつ 国土防災技術(株) しずおかしずま 静岡支店

平成29年度 静岡県交通基盤部優良業務委託表彰一覧表

部門別 別紙

番号	部門	事務所	業務名	箇所名	受託者名
1	測量・用地調査等業務	熱海土木	平成27年度大東他総合流域防災(基礎調査)【防災・安全交付金】事業に伴う土砂災害防止法基礎調査業務委託(地すべり)	伊東市新井	なかにほんこうくう しずおかしてん 中日本航空(株)静岡支店
2	測量・用地調査等業務	島田土木	平成28年度(一)蔵田島田線道路維持(災害調査費)に伴う測量・設計・用地調査業務委託	島田市伊久美	おおがほくりようせつけい 大鐘測量設計(株)
3	地質・土質調査業務	沼津土木	平成28年度 JR東海道本線・JR御殿場線社会資本整備総合交付金事業(街路)に伴う地質調査業務委託(新車両基地)	沼津市小諏訪	(株)ジーベック
4	設計業務	下田土木	平成27年度(国)136号道路施設震災対策事業に伴う設計業務委託(黒浜棧道橋)	賀茂郡西伊豆町仁科	ちゅうおう 中央コンサルタンツ(株) しずおかしむしよ 静岡事務所
5	設計業務	沼津土木	平成28年度(一)御殿場箱根線橋梁修繕(道路維持)に伴う設計業務委託(御殿場高架橋修繕設計)	御殿場市東田中	にほんぎじゆつかいぱつ (株)エイト日本技術開発 しずおかしむしよ 静岡事務所
6	設計業務	沼津土木	平成27年度 一級河川御殿川豪雨対策緊急整備事業(河川)に伴う設計業務委託(その2)	三島市南二日町	すずきせつけい 鈴木設計(株)
7	設計業務	静岡土木	平成28年度一級河川安倍中河内川災害復旧工法委託(河川調査)に伴う測量・設計業務委託	静岡市葵区桂山	はっとり 服部エンジニア(株)
8	設計業務	島田土木	平成28年度(主)川根寸又峽線道路維持(災害調査費)に伴う測量・設計業務委託	榛原郡川根本町奥泉	まついそくりようせつけいじむしよ (株)松井測量設計事務所
9	設計業務	袋井土木	平成27年度(主)掛川大東線 新青田トンネルほか防災・安全交付金(県道トンネル修繕(本体工))に伴う調査・補修設計業務委託(掛川支所管内)	掛川市板沢	おうようちしつ しずおかしてん 応用地質(株)静岡支店
10	設計業務	浜松土木	平成28年度二級河川堀留川広域河川改修事業(防災・安全交付金)に伴う設計業務委託(樋門詳細設計)	浜松市西区入野町	きょうわ (株)共和コンサルタント
11	設計業務	田子の浦港管理	平成27年度田子の浦港田子の浦港浚渫土砂処分場対策事業富士緑地展望施設詳細設計業務委託	富士市前田	しょうわせつけい 昭和设计(株)
12	調査・点検等業務	下田土木	平成28年度二級河川仁科川水系河川調査に伴う河川整備基本方針業務委託(正常流量検討)	賀茂郡西伊豆町仁科	やちよ 八千代エンジニアリング(株) しずおかしむしよ 静岡事務所
13	調査・点検等業務	沼津土木	平成28年度 一級河川沼川第2放水路広域河川改修事業(防災・安全交付金)に伴う設計業務委託(モニタリング計画検討)	沼津市原	ちゅうおう 中央コンサルタンツ(株) しずおかしむしよ 静岡事務所
14	調査・点検等業務	富士土木	平成28年度(主)富士川身延線外防災・安全交付金(橋梁点検)に伴う橋梁定期点検業務委託	富士宮市内房	ふじせつけい 富士設計(株)
15	調査・点検等業務	静岡土木	平成28年度清水西海岸防潮対策事業(防災・安全交付金)に伴う侵食対策モニタリング業務委託	静岡市清水区三保	(株)クリアリア静岡営業所
16	調査・点検等業務	袋井土木	平成27年度二級河川太田川河川維持管理(太田川ダム維持管理)に伴う太田川ダム濁水対策工法検討業務委託	周智郡森町亀久保	にほんこうえい 日本工営(株) しずおかしむしよ 静岡事務所
17	調査・点検等業務	袋井土木	平成28年度(一)大河内森線 奥の谷トンネルほか防災・安全交付金(トンネル点検)道路トンネル定期点検業務委託	周智郡森町亀久保	だいこつぽん 大日本コンサルタント(株) しずおかしむしよ 静岡営業所
18	調査・点検等業務	浜松土木	平成27年度一級河川安間川流域治水対策河川事業(防災・安全交付金)に伴う地下水調査業務委託	浜松市東区市野町	(株)フジヤマ
19	調査・点検等業務	焼津漁港管理	平成28年度焼津漁港 漁港防災対策支援事業焼津漁港津波避難誘導計画策定業務委託	焼津市中港	しずおかえいぎょうしよ いであ(株)静岡営業所
20	農業農村整備等業務	東部農林	平成28年度障害防止(施設補修)東富士地区東富士ダム設計委託その1	御殿場市水士野	えめていしー NTCコンサルタンツ(株) しずおかしむしよ 静岡営業所
21	農業農村整備等業務	志太榛原農林	平成28年度県単調査(調査計画)志太榛原地区設計委託その4	藤枝市宮原	ふじそうごう 不二総合コンサルタント(株)
22	農業農村整備等業務	西部農林	平成28年度治山(地すべり)下里(27繰越)調査委託その1	浜松市天竜区龍山町瀬尻	こくどぼうさいぎじゆつ 国土防災技術(株) しずおかしてん 静岡支店

受賞業務委託の概要

下田土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成27年度 [第27-D8303-01号] (国) 136号 道路施設震災対策事業に伴う設計業務委託 (黒浜栈道橋)
履 行 期 間	平成27年11月28日 ~ 平成29年3月21日
業 務 概 要	橋梁耐震対策詳細設計 1式 補強土壁詳細設計 (軽量盛土) 1式 旧橋撤去設計 1式
受 注 者 名	<small>ちゅうおう</small> 中央コンサルタンツ株式会社 静岡事務所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次緊急輸送路 橋長L = 101.68m ・基本幅員 車道部W = 10m (うち栈道橋部6m)、歩道部W = 3m ・上部工 プレテンション方式PC単純中空床版橋 ・下部工 A1~A2 橋台 逆T式 P1~P4 橋脚 張出式 ・基礎工 深礎杭 ・富士箱根伊豆国立公園、名勝伊豆西南海岸 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>受注者は、当該橋梁及び地盤の特性を正確に把握した上で適切にモデル化し挙動解析を行った。また、業務の課題等を職員に分かり易く説明し、その対応方針を複数案、随時提案するなど効率的な業務完了に努めた。</p> <p>設計当初は、既設橋梁基礎部の耐震性能を照査した結果、県方針に従い、柱部の補強を先行し、別途、基礎部の補強を行う方向で業務を進めていた。しかし、受託者は再度、社内で検討を行い、全体事業費や施工性、維持管理性などを総合的に判断し、既存の概念にとらわれることなく柔軟な発想と優れた技術力により橋梁構造から盛土構造 (FCB工法) へ変更を提案し、設計内容を見直し業務を完了させた。</p> <p>【特に困難な条件を克服又は事業遂行への貢献】</p> <p>地形・地質条件のほか国立公園、名勝地、観光地などの地域特性も正確に把握し、適切な施工期間の設定及び施工時の民地部への影響など細部まで考慮した施工方法を提案し、質の高い成果品を作成した。</p>

受賞業務委託の概要

下田土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度 [第 27-K1501-01 号] 二級河川仁科川水系 河川調査に伴う河川整備基本方針業務委託（正常流量検討）
履 行 期 間	平成 28 年 5 月 17 日 ～ 平成 29 年 3 月 15 日
業 務 概 要	二級河川仁科川水系 河川整備基本方針策定に伴う業務 1 式 現地調査、正常流量の検討、関係機関協議資料作成 河川審議会運営補助 1 式
受 注 者 名	八千代 ^{やちよ} エンジニアリング株式会社 静岡事務所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>本業務委託は、正常流量検討の手引きに基づき、①現地調査、水位観測データ取り纏めによる河川環境の把握、②河川区分の設定、③項目別必要流量の検討方針の設定、④項目別必要流量の算定、⑤維持流量の設定、⑥水利流量の設定の手順で正常流量の設定、について実施する。又関係機関協議用資料、県河川審議会の配付資料、プレゼンテーション資料などを作成することと併せて、審議会運営を補助する業務である。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>経年的に流量観測が実施されていなかったため、設定流量の妥当性検討のために、新たな低水流量観測の実施や、発電所水位観測データとの照合を行うなど、業務遂行段階で必要と考えられる情報について、積極的に企業努力で収集した。</p> <p>業務打ち合せ時には、図表を効果的に使用するほか、容易に内容が理解できる要約版も備えた資料を用意するなど、打ち合せ協議を効率的に進める工夫に努めていた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>関係機関協議を進めるなかで、計画の基準となる雨量観測所の妥当性検討や、環境検討シート及び環境検討概要書作成などの追加業務が発生したが、履行期限内に優れた業務を完了させた。</p>

受賞業務委託の概要

熱海土木事務所

部 門	測量・用地調査等業務部門
業務委託名	平成 27 年度 [第 27-S1610-02 号] 大東他総合流域防災（基礎調査） 【防災・安全交付金】事業に伴う 土砂災害防止基礎調査業務委託（地すべり）
履行期間	平成 27 年 12 月 5 日 ～ 平成 28 年 10 月 28 日
業務概要	地すべり基礎調査（区域設定・調査） 机上調査 N = 2 箇所 現地調査 N = 2 箇所 区域設定 N = 2 箇所 砂防フロンティア照査 N = 2 箇所
受注者名	<small>なかにほんこうくう</small> 中日本航空株式会社 静岡支店
受賞理由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>土砂災害防止法第 7 条（土砂災害警戒区域）第 4 項に規定する公示図書に使用する危険区域の設定を、机上調査及び現地調査により取りまとめ、（一財）砂防フロンティアの照査を受けて工事図書を作成した。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>・<u>航空写真判読時の図化機の活用</u></p> <p>机上地形調査における航空写真判読では、デジタルステレオ図化機を用いて地すべりブロックを抽出した。一般的な実体視鏡を使った地形判読と比べて、一度に広範囲の実体視が可能になり周辺地形との関係性や微地形を的確に判断できるため、高精度かつ抽出漏れの無い机上地形調査が実施できた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>・<u>指定図書における航空レーザ等高線の採用</u></p> <p>地すべりブロックの検討において最も精度が高い「航空レーザ等高線」を活用した。検討結果を砂防基盤図（DM）の背景で整理をした場合、地すべりブロックの根拠となる微地形が把握しにくいいため、砂防基盤図の等高線に航空レーザ等高線を採用した。</p> <p>・<u>古い航空写真による過去地形の把握（地形改変への対応）</u></p> <p>航空写真判読では一般的に最新の航空写真を利用することが望ましい。しかし現地調査で過去の地形の推定は困難であるため、地形発達などを考慮しながら設定する地すべりブロックについて、過去の航空写真を利用するなどして、抽出・設定を行った。</p>

受賞業務委託の概要

沼津土木事務所

部 門	地質・土質調査業務部門
業 務 委 託 名	平成28年度 JR東海道本線・JR御殿場線 社会資本整備総合交付金事業（街路）に伴う 地質調査業務委託（新車両基地）
履 行 期 間	平成28年8月11日～平成28年11月10日
業 務 概 要	地質調査業務 7箇所 機械ボーリング 108m 標準貫入試験 108回 孔内水平載荷試験 7回 土質試験 7箇所 PS検層 2箇所
受 注 者 名	株式会社ジーベック
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 沼津駅付近連続立体交差化事業の新車両基地設計に係る地質調査である。 JR 東海に委託して同時期に実施している新車両基地設計業務の建築物等配置・構造検討の進捗に合わせた資料提供が必要であった。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>受注者は、初回の打ち合わせ時から業務の目的を十分把握し、設計者が必要とする地質情報について相互に確認し、効率的な業務を遂行した。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>今回の地質調査業務は、JR 東海で進める設計業務と同時に展開し、業務手順や時期を整合することが求められていた。受注者は、設計者が必要とするデータ等をわかりやすく客観的に整理することで、事業進捗に貢献した。</p> <p>以上のように、現地の状況を的確に把握するとともに工程管理を徹底し、新車両基地設計の建築物構造等の検討にジャストタイムで利用できる、質の高い優れた業務委託であった。</p>

受賞業務委託の概要

沼津土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成28年度 (一) 御殿場箱根線 橋梁修繕 (道路維持) に伴う 設計業務委託 (御殿場高架橋修繕設計) 委託
履 行 期 間	平成28年 8月13日 ~ 平成29年 3月15日
業 務 概 要	橋梁補修設計 n=1 橋 L=228.8m 上部工: RC 中空床版 n=4 径間、合成鋼鈹桁 n=1 径間 下部工: 重力式橋台 n=2 基 2 柱式橋脚 n=14 基
受 注 者 名	(株) エイト日本技術開発 <small>にほんぎじゅつつかいはつ</small> 静岡事務所 <small>しずおかじむしょ</small>
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>(一) 御殿場箱根線が JR 御殿場線と市道 0216 号線 (東大路線) をオーバーパスする御殿場高架橋について、過年度に実施した橋梁点検結果を踏まえ、現地踏査、現地調査 (非破壊探査)、基本条件を整理し、必要な詳細構造を把握し、経済的かつ合理的な補修工法の選定並びに仮設計画を作成する業務である。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の目的を十分理解し、必要な有資格者を活用し、過年度の結果整理、現場状況の把握を積極的に行った。 ・上部工下面の表面保護シートの浮きについて、現地調査及び試掘結果などを踏まえ、原因、メカニズムについて解りやすくまとめた。 ・点検結果、補修対象について、過年度の点検結果と対比しながら解りやすい報告書を作成した。 ・交通量が多く (H27 交通情勢調査 17,963 台/24h) DID 地区内の幹線道路である当該路線において、現道交通を確保しながらの切り回し計画を作成するほか、周辺事例等の調査に基づき JR 御殿場線跨線部の適切な仮設計画を立案した。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部工下面が表面保護シートで覆われていることから、上面からの調査方法として非破壊探査 (レーダー探査) を提案し、既設床版の現況を的確に把握した。 ・JR 御殿場線跨線部の表面保護シートについては、部分補修で満足する検討結果が得られたものの、工事実施時の状況に応じ全面補修の費用算定も成果としてまとめた。

受賞業務委託の概要

沼津土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度[第 27-K3316-01 号]一級河川御殿川 豪雨対策緊急整備事業（河川）に伴う設計業務委託（その 2）
履 行 期 間	平成 27 年 12 月 19 日 ～ 平成 28 年 11 月 30 日
業 務 概 要	護岸詳細設計 N=1 式 (L=200m)
受 注 者 名	<small>すずきせつけい</small> 鈴木設計 株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該業務は、一級河川御殿川のD I D地区を蛇行する区間をショートカットし、流下能力不足を解消するための護岸詳細設計である。 ・事業用地の取得に時間を要していることから、事業地周辺に多くの家屋が建設されたため、安全かつ周辺環境に配慮した施工計画の立案が必要となった。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討の結果、現河川には多くの排水が流入し、周辺環境への影響が大きいことから廃川にできないことを確認した。 ・現河川に維持流量を流し、降雨時、水位上昇したときに越流堤からショートカット部にも流す計画を提案した。 ・ショートカット部に必要な流下能力に対応する護岸形式の比較検討を行い、経済性や維持管理などに優位なボックスカルバートを提案するなど、高いコスト意識や高度な技術提案力を遺憾なく発揮した。 ・業務において発生した問題点・課題等を的確に把握したうえで協議資料を作成し、速やかに打合せを行うなど業務を遅滞なく履行した。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的な開水路をトンネル水路とすることは、地域分断を防ぐとともに、環境変化も少なくすることができるので、地元理解を得られやすい河川改修計画となった。 ・施工箇所は家屋が近接している。そこで受注者は、事業区間をつぶさに調査し、周辺環境を考慮した振動の少ない施工方法、新技術・新工法（リフトローラー工法）に係る有用な提案に努めた。

受賞業務委託の概要

沼津土木事務所

部 門	調査・点検等業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度 [第 27-K2000-01 号] 一級河川沼川第 2 放水路 広域河川改修事業（防災・安全交付金）に伴う設計業務委託 （モニタリング計画検討）
履 行 期 間	平成 28 年 8 月 11 日 ～ 平成 29 年 3 月 17 日
業 務 概 要	モニタリング計画検討 1 式 モニタリングシステム検討 1 式 モニタリング施設設計 1 式
受 注 者 名	<small>ちゅうおう</small> 中央コンサルタンツ株式会社静岡事務所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】 当委託業務は、老朽化した沼川第 2 放水路の吐口部改良（セットバック案：吐口位置をバームが函体内に侵入しない陸側まで下げる案）に伴い、維持管理上必要となる観測施設の設計を行うとともに、将来的に放水路を管理する上で必要となるモニタリング計画について検討する業務である。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】 別途実施中であつた関連業務（沼川第 2 放水路現地実験や水理模型実験、海岸環境への影響評価）等で得られた知見を整理し、把握すべきモニタリング項目の抽出やモニタリング手法を検討するとともに、モニタリング項目ごとの優先度を評価して、これに応じた段階的なシステム整備の計画について提案した。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】 次年度に沼川第 2 放水路の吐口部改良工事に一部着手する予定であり、改良後の維持管理方針を早期に立案する必要があつたため、スピード感を持って関連業務結果や有識者ヒアリング結果を反映させるべく、関連業務の受注者と密接な情報交換を行い、他業務に影響を及ぼすことなく履行期限内に完了させた。</p> <p>（バーム：静穏な波浪で形成される砂の堆積、汀段）</p>

受賞業務委託の概要

富士土木事務所

部 門	調査・点検等業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度（主）富士川身延線外 防災・安全交付金（橋梁点検）に伴う橋梁定期点検業務委託
履 行 期 間	平成 28 年 9 月 28 日 ～ 平成 29 年 2 月 28 日
業 務 概 要	橋梁定期点検 n = 16 橋 (旧芝川町における県管理路線である 5 路線、16 橋について橋梁の 損傷及び変状を早期に発見し、維持管理に必要な基礎資料を得る ことを目的とする)
受 注 者 名	ふじせっけい 富士設計株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>当業務委託は、静岡県橋梁点検マニュアルに基づき実施するもので、既存資料（橋梁台帳等）の収集整理、現地踏査による点検方法等の概況調査の後、近接目視による点検を実施し、損傷図等の作成、健全度の診断（Ⅰ～Ⅳ判定）を行う。</p> <p>なお今回の業務においては、橋梁点検車又は高所作業車を必要とする近接目視点検が多く、現道の交通規制を実施する期間が長い業務である。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>高所点検、河川内での点検及び一般車両が通行する中での点検等、安全に対し慎重な点検が求められることから、全点検箇所において、開始前に点検者による事前ミーティング（KY活動）の実施を徹底し、安全対策を確認することで、事故防止に努めた。</p> <p>また、独自様式（A3版）による点検結果をまとめ、健全性の評価根拠となる損傷箇所と損傷の状況を関連付け、具体的に示すことで、補修計画策定の判断資料向上につながる優れた成果物をまとめた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>支承本体の健全性の診断評価については、過去の点検記録との経年変化を容易に評価できるように、既存資料と同じ方向からの写真を撮影するなど、重要な点を理解しやすく取りまとめ、きめ細やかな業務の完了に努めた。</p>

受賞業務委託の概要

静岡土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度[第 28-B0300-01 号]一級河川安倍中河内川 災害復旧工法委託（河川調査）に伴う測量・設計業務委託
履 行 期 間	平成 28 年 9 月 16 日 ～ 平成 29 年 2 月 28 日
業 務 概 要	4 級基準点測量 8 点 比較工法検討 1 式 路線測量 0.13 k m 斜路式落差工詳細設計 1 式
受 注 者 名	はっとり 服部エンジニア 株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年 9 月 7 日から 9 月 8 日台風 13 号により被災した一級河川安倍中河内川の桂山落差工災害復旧に伴う測量設計である。 早期復旧工事のため、11 月 16 日災害査定が必要となった。 魚道の復旧も伴うことから、地元漁協との協議が必要となった。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>復旧する落差工は大規模であったため、1 渇水期での復旧は困難であったことから、安全で効率的な分割施工の検討や、アユの遡上の影響が少ない施工方法の検討に加えて魚道の設計も必要となった。</p> <p>落差工については、全面からアユが遡上できる護床ブロックによる斜路式落差工としたが、漁協との協議により斜路の幅員が平均 86m と広いことからブロックを濬筋に合わせて溝型に並べる形状とした。</p> <p>ブロックを植石型とし、石の配置や突起部の大小および耐久性への工夫も兼ね備えた構造に工夫することで、河川施設としての構造を満足するだけでなく、漁協の要望に十分に対応する施設の設計を完成させた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>このように関係者調整が必要で、かつ作業量の大きな厳しい状況のなか受注者は、被災直後から 2 ヶ月弱という短期間で、査定額が 4 億円弱の大規模な測量・設計をまとめるとともに、査定のわかりやすい説明資料を作成するなど、申請額に対し 100%の採択率とすることに大きく貢献した。</p>

受賞業務委託の概要

静岡土木事務所

部 門	調査・点検等業務部門
業 務 委 託 名	平成28年度 清水西海岸高潮対策事業 (防災・安全交付金)に伴う侵食対策モニタリング業務委託
履 行 期 間	平成28年11月11日～平成29年3月15日
業 務 概 要	定点写真観測、波浪データの整理、汀線測量の整理 土量変化の実態調査、次回の養浜実施計画、委員会運営補助 各1式
受 注 者 名	株式会社クレアリア 静岡営業所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】 本業務は、静岡海岸・清水海岸において、海岸侵食対策工事が海浜変形に及ぼす影響をモニタリングし、今後の侵食対策事業の実施方針等を検討する業務である。 本業務の遂行に当たっては、次の諸条件がポイントとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最適な養浜実施計画の立案が求められた。 ・半島先端部における養浜材採取方法の提案が求められた。 ・本業務の検討内容を「清水海岸侵食対策委員会」に諮るため、海岸工学の専門委員との高度な技術的調整が求められた。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング結果の比較や表現方法について、適切なグラフや図表によりわかり易いアウトプットをまとめ、委員会資料の情報共有を容易にすると共に、円滑な議論に大いに役立てた。 ・大量の過年度モニタリングデータを駆使した現状分析から、海浜変化の動向が予測できたことにより今後の課題が明らかとなり、さらに専門委員等との議論を通じ、的確な対応方針が導かれた。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半島先端部における養浜材採取方法の検討においては、三保半島の砂嘴（さし）地形が現在も発達し続けていることを明らかにした上で、侵食の進行に合わせて、養浜材の採取箇所を移動させるべきとした提案は、今後の工事で配慮すべき重要事項であると共に、学術的にも優れた分析であったことから、土木学会論文集（海岸工学）に掲載予定となるほどの質の高い成果であった。 <p>*砂嘴地形：湾口から鳥のくちばしのように延びた堤防状の砂の堆積</p>

受賞業務委託の概要

島田土木事務所

部 門	測量・用地調査等業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度[第 28-I 5904-01 号] (一) 蔵田島田線道路維持 (災害調査費)に伴う測量・設計・用地調査業務委託
履 行 期 間	平成 28 年 5 月 6 日 ~ 平成 28 年 10 月 31 日
業 務 概 要	設計業務：アンカー付場所打ち法枠詳細設計 1 式 道路詳細設計(B) 1 式 測量業務：ドローン測量及び 3D レーザースキャナー 1 式
受 注 者 名	<small>おおがねそくりようせつけい</small> 大鐘測量設計株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>本業務は、一般県道蔵田島田線の道路斜面崩壊に伴う道路災害復旧に向けた、災害協定に基づく出動要請による業務委託である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災現場は、斜面上部に不安定土塊や立木が残り、再び崩落が発生する危険性が高い。 ・地区の重要路線であり、通勤及び通学の利用者が多くバス路線でもある。 ・う回路は、延長 (31.6 k m) が長く時間も要す。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・崩落の危険性がある斜面に人が立ち入ることなく、安全かつ迅速に測量を実施するため、受託者からドローン測量の提案があり、結果的に、通常 4 日見込まれる外業は、1. 5 日に短縮された。 ・ドローンのみでは把握できない部分については、地上の 3D レーザースキャナーによるデータを合成・補正することで、復旧範囲を的確かつ正確に現地状況を再現し、速やかな工法選定につなげた。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期の交通解放を求められる状況で、狭い幅員の道路にバスの通行帯と施工スペースを確保して仮設防護柵を設置するという困難な課題に対しても、3D データを活用することで、バスの軌道を考慮した仮設防護柵の設置位置を選定するなど、トラブルなく交通開放することができた。 ・任意の断面図を垂直・水平方向で作成したことから、ロックボルトの貫入方向、深さを細かく検討することが可能になり、より正確な設計成果をまとめた。 ・危険性・緊急性が高い状況で地形、工程等の条件を踏まえ 2 つのデータを組み合わせるなど創意工夫に努めた。

受賞業務委託の概要

島田土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度[第 28- I 5904-02] (主) 川根寸又峡線道路維持 (災害調査費) に伴う測量・設計業務委託
履 行 期 間	平成 28 年 5 月 13 日 ~ 平成 28 年 11 月 30 日
業 務 概 要	測量業務 N = 1 式 4 級基準点測量 3 点 縦断・横断測量 L = 0.036 k m 設計業務 N = 1 式 落石防護網詳細設計 L = 36m
受 注 者 名	株式会社松井測量設計事務所 <small>まついそくりょうせつけい</small>
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本業務委託は、平成 28 年度 5 月 10 日の落石により、全面通行止めとなった箇所の道路落石対策に関する測量・設計業務である。 ・本線は県を代表する観光地「寸又峡温泉」への唯一のアクセス道路であり、交通量が多く早期の道路開放が求められていた。 ・対策範囲の法面は道路より斜面頂上までの高さ 50m~60m、斜度 60° ~70° の急峻な地形である。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>当該箇所は地形条件が悪く、不安定な岩が多数存在するため、人が斜面に上って現地調査することが困難な場所であった。そこで受注者は、人が入れない箇所もドローンによる撮影で地山の状況や被災状況をより正確に確認した。また、調査結果は写真を用いて状況や問題点を細かく記載しており、将来的な落石・崩落の危険性を斜面全体で分かり易く取りまとめ、設計に反映した。</p> <p>工法選定ではフロー図や表を用いて、選定根拠を明確にするとともに落石防護網の被災状況や現地調査結果を十分に勘案した工法提案がなされた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>急峻で風化が進む斜面の調査にドローンの活用など創意工夫に努め、落石・崩落の危険性を細かく把握するなど、安全な交通開放並びに速やかな交通開放のための応急工事の着手に貢献した優れた業務委託であった。</p>

受賞業務委託の概要

袋井土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成27年度[第27-I6300-03号] (主) 掛川大東線新青田トンネル外 防災・安全交付金 (県道トンネル修繕 (本体工)) に伴う 調査・補修設計業務委託 (掛川支所管内)
履 行 期 間	平成27年11月11日 ~ 平成28年5月31日
業 務 概 要	補修設計 (新青田トンネル、松葉トンネル、伊達方トンネル) 調査 (新青田トンネル、松葉トンネル、伊達方トンネル、西大谷トンネル) 覆工背面空洞調査 (新青田トンネル、松葉トンネル)
受 注 者 名	おようちしつ 応用地質株式会社 静岡支店
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】 当該業務は、別途点検業務で健全度Ⅲと判定された新青田トンネル、松葉トンネル、伊達方トンネルのトンネル調査補修設計である。</p> <p>業務の内容は、「静岡県道路トンネル点検要領」改訂版に基づき、過年度の覆工表面点検結果を再精査して、最新の変状を確認して健全度の判定を行うこと、健全度Ⅲ以上と判定されたトンネルの補修工法を検討することである。この結果、新青田トンネル及び松葉トンネルは「裏込注入工」を、伊達方トンネルは「内面補強工 (炭素繊維シート)」の補修設計となった。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】 新青田トンネルと松葉トンネルの過去のトンネル点検結果では、外力に起因する不規則なひび割れが見られなかったことから、近接目視による変状の確認にみよって健全度の判定を行う計画であった。</p> <p>ところが受注者は、対象トンネルが矢板工法なので覆工背面に空洞が発生している可能性があるといった問題点に気づき、発注者との協議を図った。この結果、健全度判定に必要な追加調査を提案し、調査結果を補修設計に反映できたことで、適正な設計をまとめた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】 伊達方トンネルは、前年度までの計測結果を分析したところ、偏圧が作用しているものとされたことから、受注者は、覆工部ひびわれ変状の進行速度、施工性、交通規制、補修材料の特性及び経済性等の総合的な観点から「内面補強工 (炭素繊維シート)」を提案し、発注者に対する解りやすい説明に努めた。</p>

部門	調査点検業務部門
業務委託名	平成 27 年度〔第 27-K1083-01 号〕二級河川太田川河川維持管理（太田川ダム維持管理）に伴う太田川ダム濁水対策工法検討業務委託
履行期間	平成 27 年 6 月 25 日 ～ 平成 28 年 10 月 31 日
業務概要	既往資料等の収集整理 1 式 濁水対策工法の検討 1 式 濁水対策検討会資料作成・運営補助 1 式 出水時水質調査等 1 式
受注者名	にほんこうえい 日本工営株式会社 静岡事務所

受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】 太田川ダムの濁水長期化の原因を特定し、放流濁度を低減する為、有効な対策等を決定する検討会の(事前調整を含む)運営補助業務</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】 事前に既存資料をわかり易くまとめ、会運営を円滑に行なうことができた。(左図は雨量、水温等と「濁度の鉛直分布」の関係の時系列毎にまとめ、経年変化を視覚的に捉え易くしたもの。)</p> <p>検討会提案について、シミュレーションによる対策効果を図表に分かり易くまとめた。</p>
	<p>2.1 調査により把握された濁水特性</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【粒径分布割合の比較】 (太田川ダムの粒径分布の特徴を県外ダムとの比較により分かりやすくしたもの)</p> <p>太田川ダムは他ダムと比べ、細かい土粒子を多く含んでいる</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>③濁質の沈降速度(沈降試験)</p> <p>による沈降速度の差も、図により分かり易くなった</p> </div> </div> <p>水温・濁度の縦断コンターは、放流法の違い毎のシミュレーション結果が理解し易く、濁水防止フェンスの有効性判断の重要な資料となった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>【現行運用時】</p> <p>上流側 ← 流入水 流入水の温度に近い水温の箇所で濁水が発生</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【浮沈式濁水防止フェンス設置時】 (左図が現行、右図がフェンス設置後を表し、縦軸が深度、横軸が距離。色分けで水温の違いを表す。こういった図をフェンスの枚数、設置場所毎に作成、検証した)</p> <p>①流入水温と同程度の水温層の幅が小さい</p> </div> </div> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】 検討会の準備期間が短い中で、積極的なデータ収集と充実した業務体制による迅速な対応により、モニタリング体制補強等のソフト対策及び下流河川への対策方針をまとめることに貢献した。</p>

部 門	調査・点検等業務部門
業 務 委 託 名	平成28年度[第28-I6405-01号] (一) 大河内森線 奥の谷トンネルほか 防災・安全交付金 (トンネル点検) 道路トンネル定期点検業務委託
履 行 期 間	平成28年8月26日 ~ 平成29年2月28日
業 務 概 要	道路トンネル定期点検業務 4トンネル 銘板点検 10トンネル
受 注 者 名	<small>だいにっぽん</small> 大日本コンサルタント株式会社 静岡営業所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>「静岡県道路トンネル点検要領」改訂版に基づき、袋井土木事務所 が管理するトンネルについて近接目視、打音などの定期点検を行い、 トンネルの損傷及び変状結果により健全度ランクの判定を行った。こ の判定結果より損傷及び変状の考察を行い、トンネルに係る効率的な 予防保全に必要な基礎資料を得ることを目的としている。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>履行期限内に業務を完了させるため、特記仕様書に示された当該業 務内容を十分理解し、業務に適合した有資格者を配置した。各トン ネルの特徴を把握し、保安設置計画図に保安施設、交通誘導員の配置位 置を記載し、点検当日に朝礼を行う集合場所、駐車や資材仮置ができ る箇所等の周辺状況がわかる詳細な作業計画を作成した。また、点検 結果は、健全度ランクの色分けにより示されたわかり易い資料であっ た。今後の維持管理について、今回の調査で判定Ⅱとされた浮き剥離 の対処方法、次回点検までの間隔根拠、その際の新技术の活用等(デジ タル野帳と内業PC等とを通信回線で結ぶ情報共有等)の有用な提案が なされた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>静岡市が管理しているトンネルで銘板の落下事故が発生したのを受 け、この業務で新たに10トンネルの銘板の点検を急遽実施すること となった。管内に点在する各トンネルの作業計画作成、現地調査、健 全度評価を行うとともに、銘板の点検結果も的確かつ迅速に作成し、 所定の期間内に業務を完了させた。</p>

受賞業務委託の概要

浜松土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度二級河川堀留川広域河川改修事業（防災・安全交付金）に伴う設計業務委託（樋門詳細設計）
履 行 期 間	平成 28 年 9 月 10 日 ～ 平成 29 年 3 月 15 日
業 務 概 要	樋門詳細設計 H=1.4m W=2.1m 1 箇所
受 注 者 名	株式会社 <small>きょうわ</small> 共和コンサルタント
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 樋門詳細設計を実施するに当たり、対象となる流域で支川河川管理者の流域排水施設計画と下水道管理者の雨水幹線整備下水計画が重複しており、複雑な流域特性を考慮した計画断面決定が求められる。 ・ 当施設は、本川の堀留川の拡幅計画に伴う現況樋門の付替えとなっており、直上流に逆流防止水門の設置を計画している。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 樋門ゲート形式選定に際しては、一般的に大型ゲートの場合採用する鉛直引き上げ式ゲートよりも経済的で、自動開閉の機能を有する新技術「バランスウェイト式フラップゲート」を提案し、設置時の経済性に優れたことに、日常管理の負担軽減についても着目をした、優れた設計を実施した。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存施設建設当時から、流域内の土地利用が大きく変化しているため、河川管理者及び下水道管理者による計画修正の実施状況を整理し、各管理者協議において、分かりやすく取りまとめた資料を作成した。 ・ 上記の整理した資料より、各管理者の条件を満たす樋門設計流量を提案し、設計断面の決定に必要な資料を適格に作成した。 <p>以上のように、複雑な現地の状況を整理し、優れた提案をすることにより、効果的な河川改修事業推進に大きく貢献した。</p>

受賞業務委託の概要

浜松土木事務所

部 門	調査・点検等業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度 [第 27-K2460-01 号] 一級河川安間川流域治水対策 河川事業（防災・安全交付金）に伴う地下水調査業務委託
履 行 期 間	平成 28 年 3 月 10 日 ～ 平成 29 年 3 月 24 日
業 務 概 要	地下水調査 水位観測・データ整理 N=41 箇所（月 1 回） 自記水位計観測・データ整理 N=12 箇所（月 2 回） 雨量観測・データ整理 N=1 箇所（月 2 回） 水質調査 N=28 箇所（年 2 回）
受 注 者 名	株式会社フジヤマ
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>一級河川安間川の遊水地整備事業においては、遊水地外周部に遮水壁を施工している。本業務は遮水壁施工による周辺地下の水位及び水質への影響を確認するもので、調査は事業実施にあたり設置した調査孔の他、周辺住民が生活用水として使用している井戸を対象としている。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>受注者は業務の内容及び特性を把握し、月 2 回の水位観測日を固定するのではなく、降雨予測や民地の井戸所有者の都合による観測日の変更に対応して実施した。また、想定以上の変化が見られた際には、近隣の工事で行われている水替え作業の状況などの聞き取り調査を自主的に行うなど、水位変動の要因の把握に努め、その結果取りまとめられた成果品は目的達成度の高いものであった。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>井戸における調査では、対象井戸のある住宅を一軒一軒定期巡回し、生活用水として使用している地下水の水位・水質について不安や質問のある住民に対して丁寧に対応し、相談に応じるなど地域対策に努めた。また、水質の変化に関して住民から通報があった際には緊急的に訪問し、追加調査を行うなどして不安の払拭を図った。</p> <p>地下水の水位・水質については、地元住民の関心度も高く調査結果は地元工事説明会で報告している。受注者の作成した資料はわかりやすいものであったので、地元の理解促進や協力に寄与するもので、事業進捗に大きく貢献した。</p>

受賞業務委託の概要

田子の浦港管理事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度[第 27-W7501-01 号]田子の浦港 田子の浦港浚渫土砂処分場対策事業富士緑地展望施設詳細設計業務委託
履 行 期 間	平成 27 年 9 月 17 日 ～ 平成 29 年 2 月 28 日
業 務 概 要	展望施設詳細設計業務 1 式
受 注 者 名	しょうわせっけい 昭和設計 株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関協議：基本デザインは、地域との協働による「みなと公園」にふさわしい施設とするため、基本デザイン監修者の協力を得て決定した。詳細設計に際しては、別途契約の基本デザイン監修者との綿密な協議と基本デザインを踏襲する構造が求められた。 ・施工計画：展望施設は、供用中の公園内 TP26. 92、面積 202m² の築山頂上部に施工するため、施工スペースに制約を受けることとなる。このため、安全性、経済性、施工性を考慮した施工計画の策定が事業の成否を左右することとなった。 ・構造計算：斜めの柱を含む複雑な構造で構成要素が多いため、解析モデルの作成に高い技術力を要する。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスト縮減：通常、TP26. 92 の築山頂上部へ展望施設を設置するため吊能力の高いクレーンが必要となるが、受注者は、築山中腹部にクレーン設置用のステージを設けることで、クレーンを小型化し、当初の見積額に対して約 1 割のコスト縮減を図った。 ・外観の美しさ：築山と一体となって富士山を想起するようなデザインであったため、この柱の角度を 1 度単位で調整し、通常ボルト止め構造とする仕口部を溶接構造とする等、外観の美しさを細部にわたって追求した。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関協議：詳細設計に際しては、基本デザインを尊重し、デザイン監修者との円満な関係を継続する必要があった。計 6 回の協議において、毎回出される新たな課題に対しても、的確な設計案を迅速に提示した。また受注者は、構造の変更に伴った構造計算を繰り返すなど、本業務に対して大きな貢献を果たした。

受賞業務委託の概要

焼津漁港管理事務所

部 門	調査・点検等業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度 焼津漁港 漁港防災対策支援事業 焼津漁港津波避難誘導計画策定業務委託
履 行 期 間	平成 28 年 7 月 26 日 ～ 平成 29 年 2 月 28 日
業 務 概 要	計画条件の整理 1 式 津波避難計画の策定 1 式
受 注 者 名	いであ株式会社 静岡営業所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波待避施設配置計画の計画条件を整理し、焼津漁港で働く人々並びに焼津漁港を訪れている人々を津波災害から守るための津波避難に必要な条件を整理する。 ・避難を開始すべきタイミング、避難方法、各施設から避難先までの経路の設定および、それらの周知方法について検討を行い、津波避難誘導計画として取りまとめる。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受注者は昼間現地調査に加えて夜間も現地を調査することで、昼間と異なる視点から現場状況を確認し、夜間ならではの課題への対策として、必要な誘導灯や照明設備を配置するなど、的確かつ質の高い成果をまとめた。 ・地元関係者説明のため受注者は、検討結果を簡潔明瞭にまとめた概要版を作成した。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難経路の設定においては、津波到達時間、浸水深、避難先までの距離など多くの条件を勘案し、最適なルートを選定する必要がある。そこで受注者は、焼津漁港の津波の遡上や地域の特性、施設の整備状況など広範囲の情報収集に努め、避難路を検討した。 ・焼津漁港の津波到達時間は非常に短い。本業務によって避難誘導計画が策定できたことから、避難行動のイメージが共有できたので、災害時における迅速かつ適切な避難行動が可能になるとともに、危機意識の向上にも繋がり、地域の津波避難に大きく貢献するものであった。

受賞業務委託の概要

東部農林事務所

部 門	農業農村整備等業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度障害防止（施設補修）東富士地区東富士ダム 設計委託その 1
履 行 期 間	平成 28 年 6 月 30 日 ～ 平成 29 年 2 月 28 日
業 務 概 要	ダム耐震性能照査 1 式 初期応答解析、地震時応答解析、すべり安全率の評価、 すべり破壊等の評価、入力地震動の設定
受 注 者 名	<small>えぬてぃーしー</small> N T C コンサルタンツ 株式会社 静岡営業所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和 46 年度に完成した農業用ダム「東富士ダム」について、レベル 2 地震動に対する堤体等の耐震性能照査等を実施したものである。 ・東富士ダムは総貯水容量 120 万 m³、堤高 22.0m の内面舗装型均一式フィルダムである。 ・平成 28 年 11 月の「第 2 回東富士ダム安全性評価委員会」において結果報告が求められた。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設当時の記録の一部が散逸していた中、ダムの安全性評価に関する各種論文等、広範にわたる文献調査とともに、同形式の国営ダム安全評価委員会の審議内容に関する情報収集に努めることにより、的確な耐震性能照査を実施した。 ・入力地震動を「内陸活断層型地震」と「プレート境界型地震」に設定し、地震応答解析を適切に実施した。また、堤体の沈下量等の解析結果を着色等により視覚的に分かりやすい、優れた成果物をまとめた。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 段階の照査の結果、安全率が 1 未満となり、第 2 段階以降の検証が必要になるとともに、契約後に対象活断層の評価データが変更されたことにより、検証対象が追加された。これに対し、受注者は工程計画を見直し、委員会事前調整時には既に詳細な検証結果を提示する等、スピード感を持って業務を遂行した。 ・委員会指摘事項に対して、資料整理及び分析を早期に実施する等、的確な照査の実施と委員会对応について高い評価を受けた。

受賞業務委託の概要

志太榛原農林事務所

部 門	農業農村整備等業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度県単調査（調査計画）志太榛原地区設計委託その 4
履 行 期 間	平成 29 年 1 月 17 日 ～ 平成 29 年 3 月 15 日
業 務 概 要	基本設計（頭首工-魚道） N = 1 式
受 注 者 名	不二総合コンサルタント 株式会社 ふじそうごう
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二級河川瀬戸川（本川）と滝沢川（支川）の合流部付近に設置された宮原頭首工について、既設魚道では支川にしか魚が遡上しないため、本川にも遡上できるように魚道を新設するための基本設計を行う。 ・頭首工の下流部の河床低下と遡上期の河川水量の低下に配慮した魚道設計が求められた。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な実績を基に、初回の打合せ時には既に業務の目的、現場の課題等を十分把握し、設計や河川協議に必要な情報収集を実施する等、効率的に業務を遂行し、履行期限内に完了させた。 ・魚道形式の選定にあたっては、各設計条件に基づく魚道機能の検討に加え、近隣の施工事例も含めた詳細な現地調査の結果、土砂堆積による機能低下や、維持管理労力の低減について着目し、実態を踏まえた比較検討を行う等、地元コンサルタントならではの技術力を駆使し、質の高い成果物をまとめた。 ・河床低下や滲筋の変化に対応できるよう、現況河床との擦りつけや、魚道入口部を扇状に拡幅する等、現状の課題に対して、工夫をこらし、適切な設計に努めた。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設護床工について詳細な現地調査と概略構造計算を実施し、詳細検討の必要性を提案した。 ・既設魚道の改良案や仮設・施工計画等、事業採択に向けた事業計画の作成や河川協議に必要な事項について提案することで事業遂行に大きく貢献した。

受賞業務委託の概要

西部農林事務所

部 門	農業農村整備等業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度治山（地すべり） ^{くだり} 下里（27 繰越）調査委託その 1
履 行 期 間	平成 28 年 9 月 8 日 ～ 平成 29 年 1 月 31 日
業 務 概 要	機械ボーリングφ66 N=2 本（L=50m、L=42m 計 92m） パイプ歪計調査 N=4 孔、地下水位調査 N=4 孔、 地表伸縮計調査 N=3 基、安定解析 1 式
受 注 者 名	^{こくどぼうさいぎじゆつ} 国土防災技術株式会社 ^{しずおかしてん} 静岡支店
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年に、集中豪雨により下部地すべりブロックの滑動が活発化したことから、緊急地すべり事業で集水井工を施工した。 本業務は、下部地すべりブロックで実施した対策工法の効果検証を行うとともに、上部ブロックを含む全体の地すべり対策工法の検討と安定解析を実施するものである。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 受注者は、業務着手後、ただちに詳細な現地踏査を実施し、新たな湧水や異常降雨時に既設アンカー工の頭部から湧水が噴出したことを確認した。並行して、既設調査ボーリングにおける地下水位等のデータ解析結果を再精査したところ、区域内に新たな地下水が存在する可能性に気付き、その流入機構調査の追加実施を提案した。 地すべりブロック内の湧水、既設集水井やボーリング暗渠工からの排水を対象とした電気伝導度や pH、水温の測定結果に基づき、電気伝導度の異なる二種類の地下水の存在を明らかにするとともに、地下水排除による地すべり防止対策の方針を的確にとりまとめた。 流入機構調査の結果として、水圧等値線図にすべり面等値線図を重ねた図を作成し、地下水の流入方向や水位を視覚的に解り易く示した、優れた成果物を取りまとめた。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区域内に存在する地下水について、地すべりブロック内での流入方向や水位が高い箇所等のデータを解り易く、客観的にとりまとめた成果物は、同時に実施している、地すべり防止工の設計業務の品質の向上に大きく貢献した。